

自らすすみ学ぶなり

銀河282

松本蟻ヶ崎高校
1学年・進路通信
第3号 2021.4.27

第1回スタディサポートの結果が返却されました。

入学直後に実施したスタディサポートの結果が各クラスで返却されました。結果はどうだったでしょうか？大切なのは、現在の自分の実力を知ることです。自分の得意分野は何で、何が苦手なのかをしっかりと分析することです。夏休みに入るまでに今回の結果で出てきた自分の弱点をしっかりと克服しておきましょう。

国語・数学・英語はあらゆる勉強のベースとなる教科です。苦手意識を持つとかなり苦勞をします。しっかり時間を確保して取り組んでみましょう。分からない所はそのままにしないで必ず先生や友人に聞いて解決していきましょう。人は自ら行動することでしか変わりません。

回答	今回(%)
授業の進捗についていけるか不安	31.3
部活動と学習の両立ができるか不安	27.4
学習や生活のリズムがうまく保てるか不安	19.9
勉強の仕方がわからず不安	6
進路の考え方がわからず不安	5.3
特に不安はなく高校生活が楽しみ	7.8
その他	2.1

入学当初の「不安」は解消されたでしょうか？

「授業の進捗についていけるか不安」「部活動と学習の両立ができるか不安」「生活リズムがうまく保てるか不安」おそらく、多かれ少なかれ皆さんはさまざまな不安をかかえていることでしょう。一つだけ真実を言いましょう。不安はそのままにしても解決しません。先生との個別面談の中で不安が解消される場合もあるでしょう。自分が抱えた不安は自分の行動で解決していくしかないのです。自分の抱えている心の中のモヤモヤを紙に書き出してみることをおすすめします。そしてその中で解決可能なものをピックアップして、やることリストを作るのです。そのやることリストをやるかやらないかは自分次第です。自分の内面の課題を「見える化」させることでかなりスッキリするものです。

進学したいけど、勉強したくない矛盾とどう向き合うか

「手段」としての学びと「実力」をつけるための学び

蟻ヶ崎高校の1年生の大半が進学を希望しています。進学とは進み学ぶと書くことから、さらに勉強を続けるということです。ところが、実際には、高校生活が進むにつれて学習時間は減少傾向になることがあります。どうして「進学したい」のに「勉強はしたくない」という不思議な状態に陥るのでしょうか？目先の目標に向かって行う学び（勉強）と自分の実力（必要感を持っている学び）をつけるための学びは違うからだと考えられます。平日の学習時間2時間、休日5時間は勉強しようと言われても、多くの高校1年生はそんなに長い時間勉強していないでしょう。（勉強している高校生もいるでしょうが）

長い時間勉強したのは高校受験に向けての過去3カ月だった。この期間の学びは合格という目標に向かった学びです。皆さんはこの目標を達成したので、もう高校受験の勉強はしないわけです。手段としての学びは目標がないと機能しません。一方、実力をつけるための学びはどうでしょうか。皆さんには後者の学びを続けて欲しいと思います。

今後の予定

日	曜日	予定	二次検査	
4	27	火	A 午前特	二次検査
	28	水	1年眼科検診	
	29	木	昭和の日	
	30	金	教育時実習利用休校	
5	1	土	午前授業 S・H・特①②③ 公開授業・PTA総会は中止	
	2	日		
	3	月	憲法記念日	
	4	火	みどりの日	
	5	水	こどもの日	
	6	木	■ 探究	
	7	金	A 午前特	二次検査
	8	土		
	9	日		
	10	月		